

# 保健所の体制強化について

# 保健所業務の重点化

## ○ファーストタッチの効率的実施

- ①発生届の情報(高齢、呼吸状態、妊婦、基礎疾患、肥満等)から優先度を判断
- ②聴取した病状等に基づき療養方針を決定

## ○ 自宅療養者健康観察

- ①重症化リスクの高い(高齢、妊婦、基礎疾患、肥満等)自宅療養者には、保健所から健康観察を実施
- ②それ以外の方については、健康不安がある場合は、自宅療養者が自ら保健所又は「自宅待機者等24時間緊急サポートセンター(自宅待機SOS)」へ連絡をお願い

## ○ 施設等における濃厚接触者等の調査

- ①学校・児童関連施設については、施設が主体的に接触状況等を確認し、保健所と情報共有
- ②濃厚接触の可能性のある場合は、自主的な自宅待機をお願い

## ○一般事業所等における濃厚接触者等の取り扱い

- ①事業者が接触状況等を確認し、濃厚接触者等の従業員を特定
- ②自宅待機・検査受検勧奨等を実施  
※エッセンシャルワーカー(社会機能維持者)に限り、自費検査で陰性確認の場合、待機期間を6日に短縮可

# 第6波に対する保健所体制強化

陽性者数	【参考】 新規351名（1/18）	新規想定700名	新規想定1000名
全体人員 体制	<b>所属65名</b> <b>応援35名</b> 保健師等専門職 30名 事務職 局内 4名 局外 1名 <b>人材派遣45名</b>	<b>所属65名</b> <b>応援160名</b> 保健師等専門職 80名 事務職 局内 30名 局外 50名 <b>人材派遣100名</b>	<b>所属65名</b> <b>応援265名</b> 保健師等専門職 80名 事務職 局内50名 局外135名 <b>人材派遣120名</b>
合計	<b>145名</b> (想定体制185名)	<b>325名</b>	<b>450名</b>
執務室	<input type="radio"/> 本館6階フロア <input type="radio"/> 本館3階大会議室（3）	<input type="radio"/> 本館6階フロア <input type="radio"/> 本館3階大会議室 （1・2・3）	<input type="radio"/> 本館6階フロア <input type="radio"/> 本館3階大会議室 （1・2・3） <input type="radio"/> 庁舎内会議室

※人材派遣が確保できるまでは職員応援で対応

■ 1日当たり新規陽性者数1000人を想定した体制を構築